TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝蛍光灯器具取扱説明書

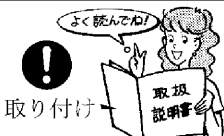
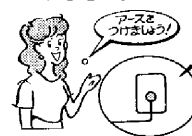
保管用

001Y1662C

形名	FHT-41107MY-PA9（人感センサ内蔵点滅タイプ）	公共施設 FDS1-FSR2-321
	FHT-41107MY-PM9（人感センサ内蔵点滅タイプ）	
	FHT-41107MY-PD9（人感センサ内蔵調光タイプ）	公共施設 FDS2-FSR2-321

適合ランプ	東芝高周波点灯専用蛍光ランプ	FHF32
	東芝蛍光ランプ	FLR40S(/36)，FL40S(S/37)

このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

• 照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

• 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ　施工上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

• 器具の取り付けは、質量に耐える所に取扱説明書に従って行なってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。

• 電源線接続の際は、3器具本体の取り付け②に従って確実に行なってください。
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。

電源線接続

• アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行なってください。
アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

アース工事

• 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災灯の原因となります。

改造

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

• この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因になります。

温度 屋外

• 器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。
間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。（器具の定格電圧と電源電圧は器具を取付ける前に必ず確認してください。）

電源電圧

• お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

お客様へ　使用上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

• ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

• ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。

可燃物

• ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
• センサなどと組合わせて点滅回数が多くなる場合はHfランプ、FLRランプのご使用をお勧めします。
また、FLランプはHfランプに比べて点滅寿命が短くなります。
• 電源を入れた状態でランプ交換を行うと、ランプが点灯しない場合があります。

適合ランプ

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

• 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。

• 器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。

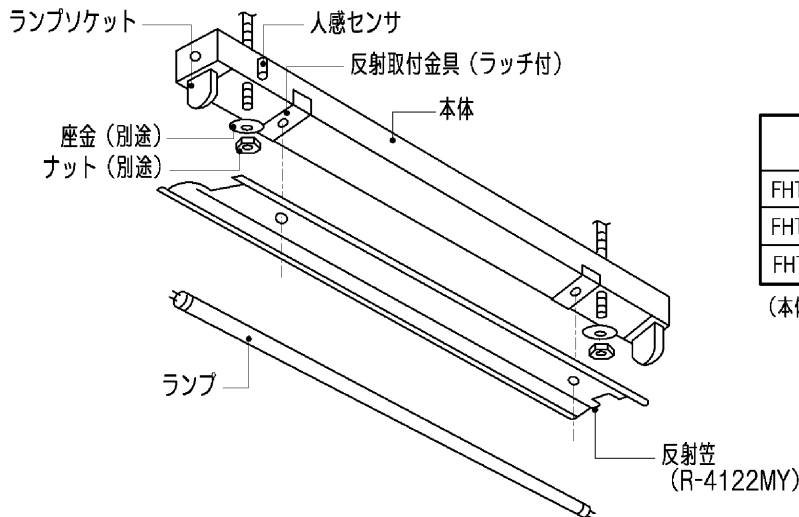
• ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。

• 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
• 1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。
（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）
• 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

⚠ お願い

• ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
• 点灯直後、ランプが一瞬明るくなる場合がありますが器具、ランプの異常ではありません。
• 間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

■各部のなまえ

器具質量
2.0kg

組合せ形名	本体形名	反射笠形名
FHT-41107MYK-PA9	FHT-41107MY-PA9	R-4122MY
FHT-41107MYK-PM9	FHT-41107MY-PM9	
FHT-41107MYK-PD9	FHT-41107MY-PD9	

（本体、反射笠は別梱別売りです。）

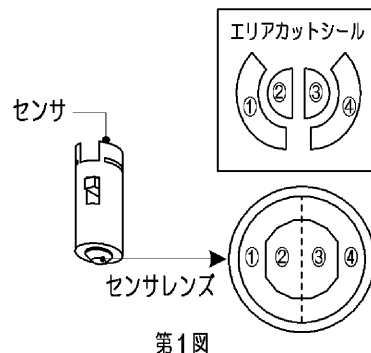
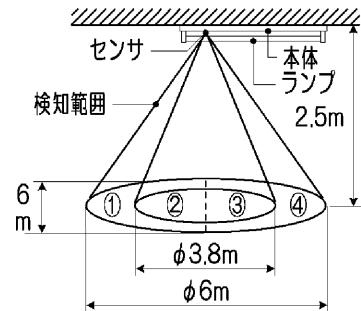
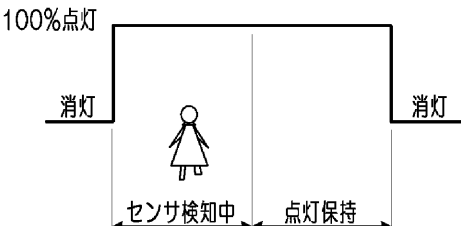
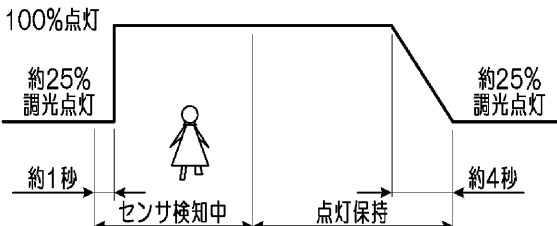
■付属品
・反射取付金具（ラッチ付）（2個）
・電源ブッシュ（1個）
・エリアカットシール（1個）

■人感センサ付照明器具に関する注意事項

1 検知範囲

①天井高さ2.5mで床面φ6mの円形の範囲を検知します。検知範囲内で人が横切ると検知します。
（注）器具の取付高さが高くなると検知感度が鈍くなることがあります。また、気温が高くなると検知感度が鈍くなることがあります。

検知条件(周囲温度25℃の場合)
周囲との温度差：4℃以上
移動スピード：0.5m/s

②センサレンズに付属のエリアカットシールを貼ることで検知範囲を限定できます。
エリアカットシール①～④を第1図の位置に貼り付けると、第2図に示す①～④の範囲を限定できます。

第1図

第2図

2 取付上及び取扱い上の注意事項

（1）次のような点滅回数の多い場所では、ランプ・安定器の寿命が短くなりますのでご使用は避けてください。
　①（人の出入りの多い）事務所　②通路　③エレベーターホールなど
（2）人感センサで消灯した場合、センサユニットにわずかな電流が流れて最大約1Wの電力を消費します。
　長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチ等を切って、節電に心がけてください。
（3）取付位置は他の電子機器からできるだけ離してください。ノイズによる誤動作の原因になります。
（4）人感センサのレンズ部分は乾いた布でこまめに清掃し、清潔にしてください。レンズの汚れにより赤外線の透過率が低下し、感度が悪くなります。
（5）人感センサは赤外線（熱）を検知します。風が当たると誤動作の原因になる場合があるため、センサ周辺には、空調の吹き出し、開放窓などが来ないような位置に施工してください。
（6）故障の原因になりますので強い衝撃を与えないでください。特に、人感センサのレンズは器具表面から突出していますので、段積みなどしないでください。
　レンズが変形した場合、人感センサが正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
（7）器具には急激な温度変化を与えないでください。結露などの原因になります。
（8）人感センサは赤外線の変化を検知するものであるため、人体以外の熱源が検知エリアを横切ると同様に検知します。人体と同じ程度の温度の物が移動する環境下での使用は避けてください。
（9）夏場など周辺温度が体温に近い温度の場合は、感度が鈍くなる場合があります。この場合は、エアコンなどによって周囲温度を調節してください。
（10）人感センサは赤外線の動きを検知しますので、検知エリア内にいても長時間動作がない場合、動作が微少な場合は検知しないことがあります。
（11）人感センサは電源を投入してから安定して動作するまで約30秒かかります。電源投入直後は動作しませんのでご注意ください。
（12）パーテーション等の障害物がある場合は検知できません。
（13）器具取り付けが斜めに傾くと検知範囲も影響しますのでご注意ください。
（14）施工、及び清掃の際は、電源を切ってください。
（15）他の電子機器からできるだけ離してください。他の電子機器からのノイズにより誤検知する場合があります。
（16）本センサは赤外線（熱）の変化を検知する方式となっています。このため、熱の変化があると人以外でも検知する場合があります。
　①ブラインドに反射した太陽光がセンサに入射した時　②空調からの温風または冷風が直接当たった時
　③窓際に設置された棚に反射して太陽光がセンサに入射した時　④人体以外の熱源が検知エリア内を移動した時
（17）使用しているセンサ素子の性質上、温度変化等周囲環境の影響により、誤検知する場合があります。

■センサ機能について

■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け寸法

(単位mm)

2-木ねじ用穴　φ23電源用穴　φ23電源用ノックアウト　2-12x20ボルト用穴

70　800　910

背面仕様図

2 器具の取り付け準備

① ランプソケットをソケット取付部にしっかり差し込んで取り付けてください。(第3図)

② 人感センサをセンサ取付金具に確実に取付けて下さい。(第4図)

(注) 制御ユニット接続線から人感センサが外れないよう人感センサを強く引っ張らないでください。

③ 本体の角穴に反射取付金具を取り付けてください。(第5図)

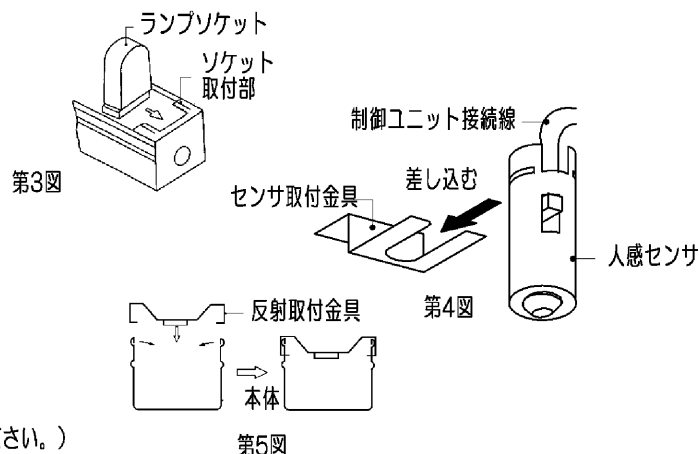
ランプソケット　ソケット取付部

第3図

制御ユニット接続線　差し込む　センサ取付金具　人感センサ

第4図

反射取付金具　本体

第5図

3 器具本体の取り付け

① 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取り付けてください。
(取付けボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)
(木ねじは丸木ねじの呼び4.1を使用してください。)
吊下の場合：吊装置(別売)及び吊下装置アダプターC-900をお買い求めいただき取り付けてください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

② 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。
リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。(第6図)

不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。

端子台の容量は20Aです。

容量を超えると発熱、火災の原因になります。

※送り線(貫通配線部)は必ずFケーブルのシースを残してください。
器具背面の電源用穴(K.O)から電源線を引込む場合
1. VVFケーブルが安定器付近を通る場合には、VVFケーブルは第7図のように安定器斜面部を通してください。
2. 第7図のようにVVFケーブルが反射取付金具の隅を通るように本体角穴に反射取付金具を取り付けてください。

端子台　リリースボタン　13±1　クロ　シロ　電源線　アース線　送り線用

第6図　(適合電線φ1.6,φ2.0単線)

安定器　VVFケーブル　反射取付金具

第7図

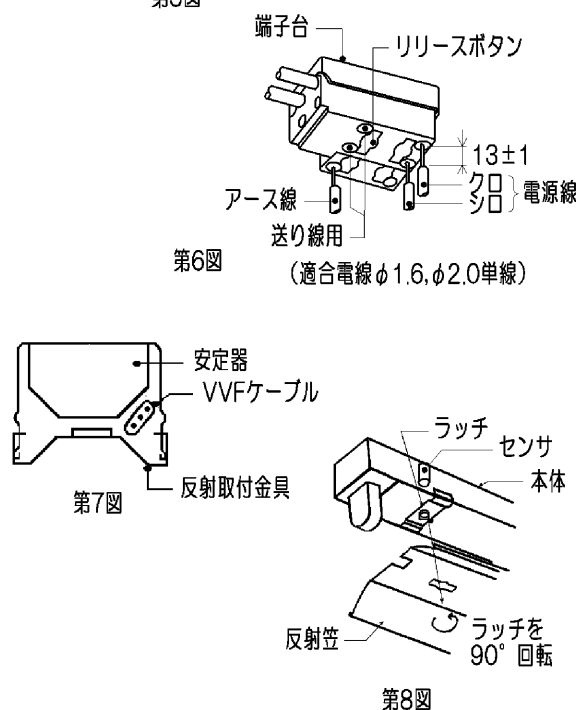
③ センサ部を反射笠のセンサ穴にあわせながら、ラッチを反射笠の穴に通し、ラッチを90゜回転させて反射笠を確実に取り付けてください。(第8図)

不備がありますと、落下の原因となります。

センサ部に衝撃を与えると破損する可能性があります。

④ ランプを全数確実に取り付けてください。

ラッチ　センサ　本体　反射笠　ラッチを90゜回転

第8図

■施工後のセンサ動作確認

① 点灯保持時間スイッチのツマミが「確認」の位置にあることを確かめ電源を入れて検知範囲の外でお待ちください。

② 約30秒間の強制100%点灯（ユニットのウォームアップ時間）の後、ランプが調光（消灯）します。

③ 検知範囲内に入ってください。

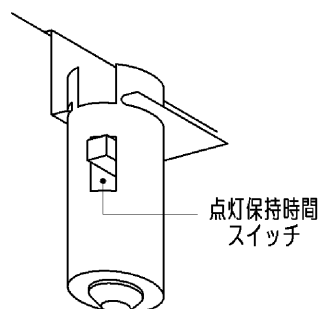
④ ランプが100%点灯します。

⑤ 再度検知範囲の外に出てください。

⑥ 約5秒後にランプが調光（消灯）します。

⑦ これで人感センサの動作確認ができました。
スイッチのツマミを3分または6分に設定してください。

（注1）「確認」設定のままご使用されますと点滅回数の多い場所ではランプが短寿命となるおそれがあります。
（注2）人の動きが小さい場合ではセンサが検知しづらくなります。人が検知範囲内にいても調光(消灯)してしまうおそれがありますので、設定時間は長めの6分をお勧めします。

点灯保持時間スイッチの説明

切り ：通常点灯（センサ機能は働きません。）

確認 ：施工時の動作確認に使用します。（約5秒）

３分 ：人がいなくなってから約3分後に調光(消灯)します。

６分 ：人がいなくなってから約6分後に調光(消灯)します。
（出荷時の設定は6分です。）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)
受付時間：365日 9:00~20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)
FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

保証について

- 保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。**但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、**お買い上げ日を特定できるもの**を添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

東芝ライテック株式会社 器具事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 TEL (046) 862-2092 FAX (046) 861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。 001Y1662C